

わくわく橘っ子

人権教育便り No. 3

令和7年12月

橘っ子人権集会～ちがいについて考えよう～

12月17日(水)に人権集会を実施しました。人権・いじめ防止委員会の子どもたちが、人権劇「ちがいについて考えよう」をテーマに、「男女の色のちがい」「男女の仕事のちがい」「お年寄りと小学生のちがい」「車いすの人とのちがい」について考える四つの場面を演じました。(例えば、女の子のランドセルは赤、男の子のランドセルは黒 など)その後、それぞれのちがいについて「これはあってもいいちがいなのか、あってはいけないちがいなのか」、のびのび班に分かれて話し合い、班で話し合ったことを発表し、全体で共有しました。

最後に、NHKのテーマソングになっている「ツバメ」をみんなで輪になって歌いました。歌詞には「ぼくらは色とりどりの命とこの場所で共に生きている」という言葉があります。みんな一人一人ちがう、それを認め合うことで繋がり合えるという想いを込めて、歌い終わった後に自分の好きな色で折った紙飛行機(紙には貰ってうれしい言葉を書いて)を飛ばしました。みんなが他の子が飛ばした紙飛行機を拾ってうれしそうに持って帰りました。





～児童の感想～

- ・橘小学校にふわふわ言葉がひろがったらいいなと思いました。そのためにわたしからふわふわ言葉を広げたいです。(1年生)
- ・差別をしないでみんなにやさしくして楽しい生活を送って行って、人それぞれちがうことを理解して生きていける自分になりたいと思いました。(2年生)
- ・わたしは、ランドセルの色は男女も関係なく何色でもいいと思います。(3年生)
- ・これから差別をしない自分になりたいと思います。自分が気づいてないけど、差別をしているかもしれないのでそれに早く気づいて直していきたいです。(4年生)
- ・あったらダメなちがい、あっていいちがいをもっと分けてずるいなと思っててもあっていいちがいを認められるような自分になりたいです。(5年生)
- ・これからは自分の立場からだけでは考えず、相手の立場から考えていきたいと思いました。また、相手の違いや個性を認めたり、男性と女性とのあってはいけない違いを無くしていきしていきたいような自分になりたいです。(6年生)